

雪国魚沼Golden Cycle Routeにおける積雪寒冷地の矢羽根型路面表示施工の状況報告

湯沢町・南魚沼市・魚沼市連携自転車活用推進協議会

●背景・地域の状況

雪国魚沼Golden Cycle Routeは全線が豪雪地帯対策特別措置法に基づく特別豪雪地帯に位置しており、令和6年度の累積降雪量は南魚沼市で1123cm、最大積雪深が300cmとなるなど多くの積雪がみられ、道路の除雪が頻繁に行われています。また、井戸水を利用した消雪パイプによる散水も行われています。



除雪の様子（写真：魚沼市）


















消雪パイプ設置路線

●矢羽根型路面表示施工法の試行

このような積雪寒冷地では自動車交通による摩耗の影響以上に除雪の影響で道路の路面表示が消えやすく、自転車通行空間の位置を示す矢羽根型路面表示も、冬季の除雪で消えるリスクが高くなっています。

このことから、湯沢町・南魚沼市・魚沼市連携自転車活用推進協議会では、矢羽根型路面表示の様々な施工法を試行し除雪の影響による経年変化を把握しています。

施工2年後の様子

道路名	(一) 親柄大白川停線	(主) 小出守門線	一般国道252号
交通量	約2,000台/日	約7,200台/日	約8,880台/日
溶融式 ①ポリアミド樹脂系			
溶融式 ②石油樹脂系			
ペイント式 ①2液エポキシエマルジョン系			
ペイント式 ②アクリルエマルジョン系			
シール式			

この結果を踏まえ、道路環境や除雪頻度を踏まえた施工法について引き続き経年変化を把握しつつ、最適な施工法の検討を進めていきます。